

# 日本エネルギー経済研究所 ビジョン

世界の中で、  
日本とアジアのエネルギー・環境を考え、発信する。

「日本およびアジアのエネルギーと地球環境については、国内外から真っ先に声をかけられ、議論への貢献を求められるシンクタンク」を目指して

## < 重点研究分野 >

1. 安定的で低廉な供給をめざすエネルギー市場のありかた
2. エネルギー技術と、経済・社会・環境へのインパクト
3. グローバル/ローカルレベルにおける、エネルギー・経済・環境の調和
4. 国際政治とエネルギー安全保障
5. 市場機能の効用と限界を踏まえたエネルギー・ベストミックス

## 活動分野

先見性と独創性のある研究

研究に基づく社会への提言

国際協力

基礎情報提供による社会貢献

事実を追求する行動力

理論的根拠に立った分析力

歴史的教訓・知識の集積による思考力

変化の予兆を把握する直観力

カスタマーニーズに柔軟に対応できる創造力

## 身につけるべき強み

総合力の発揮

内外ネットワークの形成

人材の育成

健全な組織文化の形成

収支の安定化

## 組織運営

○ 中長期的な重点研究分野をグリッドとして定め、研究資源を効果的に投入。

- ① 国民経済と企業経営に資する情報提供・提言。
- ② 重点政策課題プロジェクトを定め、エネ研全体で研究資源を集中投入し、成果物をタイムリーに発信。
- ③ エネ研の特色を生かした提案型のプロジェクトの参画。
- ④ 地域経済に対する提案。 ⑤ 広報活動の強化。

- ① アジアを中心とした発展途上国を対象とする調査・研究の充実。
- ② APEC域内におけるエネルギー安全保障、持続的発展及び環境問題の改善に貢献。
- ③ アジア諸国を中心とするエネルギー・データベースの構築に貢献。

- ① 国及び企業のエネルギー・データベースの普及。
- ② 日本の長期・短期需給見直し、アジアエネルギー・アウトLOOK等の普及と発展。
- ③ 石油情報センターを中心に、石油に関する情報を提供、石油製品等の国内供給・流通の適正化に貢献。
- ④ エネルギー・地球環境問題に関する教育・研修を広く提供。

○ 研究員が生きた情報に触れる機会を増伸。

○ 基礎的な分析ツールの習得・独自分析ツールの開発。

- ① エネルギー・地球環境問題の歴史的経緯を学習。 ② チーム編成を機動的に行い、研究員の思考力向上。

○ シナリオプランニング手法を開発・活用し、変化の方向を予見。

- ① 国および企業の政策立案者との積極的な意見交換。
- ② 会員サービスの拡充：A. 情報提供体制を整備。 B. ニーズに応えたイベント開催。

- ① 研究活動を総合的に企画・調整する機能を強化。
- ② エネ研全体の研究活動及び研究成果の対外発表の効率的な支援体制。
- ③ エネ研全体の情報発信の質の向上。 ④ 多様な人材と能力の確保。

- ① アライアンスの活用によるエネ研全体のネットワーク能力の強化。
- ② エネ研本部及び石油情報センターの情報・ノウハウの普及・啓蒙を相互に行い、連携を強化。
- ③ エネ研本部及びAPECの情報・ノウハウの普及・啓蒙を相互に行い、連携を強化。

- ① スペシャリティの確立など、研究職員の育成。 ② 事務職員の育成。
- ③ 出向者とプロパー等多様な人材が協力する組織体制を保持。 ④ 常に実のある出向機会を会員に提供。

- ① 遵法精神の涵養。
- ② エネ研全体としてやりがいのある職場づくり。

- ① 経営情報を定期的に発信し、参画意識を促進。 ② 業務効率化の継続的努力。